

今日の日はさようなら・大研究 その3

金子詔一



「みんなちがって、みんないい!」

——と若き日の金子みすず（詩人、明治36年—昭和5年）



「君は君、我は我 他、されど仲よき」

——と武者小路実篤（小説家・詩人・劇作家・画家、明治18年—昭和51年）

一人一人ちがっても“いいじゃん、面白いじゃん!”——という社会は、音楽でいうと、例えばデキシードランドジャズのアンサンブルのように、一歩間違えば、大混乱、大騒音です。つまり、これ、結構高度な技術が必要な生き方（社会）だと思えます。相常に練習しないと、お互いに認め合うアンサンブルにはなりません。そんな理想的な社会を求めて壮大な実験に挑んだ実篤の「新しき村」のことを知らない若い世代も多い。「なに、それ?」と言われちゃいます。

時代の移り変わりっていうんでしょうか?そこで、久しぶりに中島みゆきの「時代」を聞きながら、原稿を書いていると、小島真樹さんから小冊子が届きました。

小島真樹さんは、かなり浮世離れた奇人変人です。僕と同じ昭和17年生まれの73才です。とても元気でフルマラソン出場にむけて、今、準備をしています。

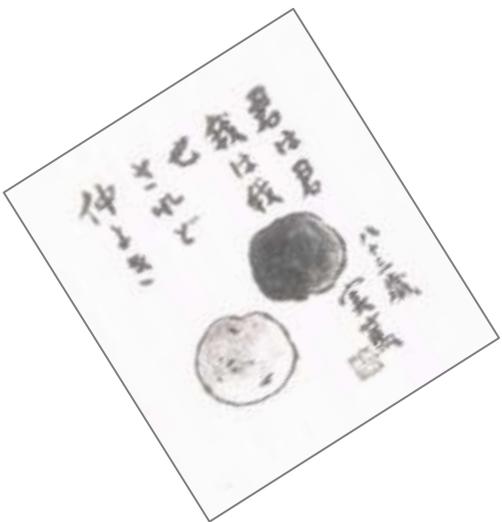
竹炭を製造したり、筍を収穫したり、仙人のような生活です。本業は現役の英語教師で、森鷗外の「舞姫」の英訳も出版しています。

小島さんは武者小路実篤の理想郷「新しき村」の理事として、その運営に生涯をささげてきました。今年96周年を迎えるこの村には、**現在12名の村人が生活しています。ゼロになるのは時間の問題**だと言いながらも、簡単にはあきらめない小島さんです。

小島さんは、純粹、純真な万年青年で、昔の**“田舎の校長先生みたいな顔”**をしています。お会いすると、なつかしさがこみ上げてきます。絶滅品種かもしれません。今、現在、小島さんの冷静な探究心は、**武者小路実篤が大東亜戦争の旗振り役をはたしたのは一体何故なの**だという謎にせまります。

実篤は、人を殺すのが大嫌いなはずなのに?.....と首をかしげています。なぜ、せめて**沈黙**してくれなかったのか?

さらに、小島さんのイメージーションは、混迷する現代の原発問題とも重なります。今、小島さんの3回にわたる講演録が小冊子になって出版されています。もしかしたら、「新しき村」の理念と行動力は、今こそ必要かもしれないと小島さんの、冷静な目が光っています。



君は君
我は我也
されど仲よき
武者小路実篤

小島さんの講演を要約すると「新しき村」を支える3本柱が見えてきます。

- 一、友情
- 二、自由
- 三、信頼

なんだか「今日の日はさようなら」の歌詞の様です。

今、思えば、大野重男さんと徹夜で飲み明かした青春の日々の座右には、なぜか、いつも武者小路実篤の本がありました。「真理先生」なんていうタイトルを見ると、それだけで身体がホテツタのを思い出します。
(小島さんの本希望者は村長室まで)

〈後記〉

僕も実篤が戦争の旗振りをしたのは知りませんでした。
ネットで調べてみると――

“実篤はいい人だけど、なんだかぬるいんだよねー！ゆるいよネ！”

と若者言葉で一撃のもとに過去の人になっていました。

そういえば、大野さんとのハーモニー運動創生期に、よく耳にしたコメントが、今でも、心につきささっています。

色男、金と力はなかりけり！

気がやさしくて力なし・・・？

金太郎は気が優しくて力持ちじゃなきや〜と言うのです。

ボランティア活動に参加する気持ちの優しい青年たちへの叱咤激励でした。

僕も、ゆるふんと言われると、ほんと悔しかったです。ゆるふん？聞いたことありますか？

小学生の僕は校庭に丸書いて相撲をとると、いつも、7勝8敗。負け越していました！！

高校生になっても、前へならへをすると自分の前には誰もいないので、腰に手をあてていました。いつの日か、力持ちになりたいと心から願っていました。

今日の日はさようなら大研究、
バックナンバー、その1、その2、その3、・・・
もうちょっとバラシちやいましょう。(まだまだ続きます)

その一、大野さん調布で大噴火。非行少年は本当に被害者か？
その二、信じ合う喜び！

その三、実篤の「新しき村」、最後の12人の行方

その四、2府7県、ハーモニィキャラバン

その五、ベルリンの壁

その六、焼け野原の杉並第四小学校

その七、赤胴鈴之介の影響

その八、良子ちゃん、本田路津子（NHKみんなの歌）、原由子（東京タモレ）、ジョーンバエズ、そしてエヴァンゲリオンの大橋のぞみ、そして、この歌は究極のゴスペルだと言ったのは北浪良佳です。

その九、やっぱり恥ずかしい青春の思い出

その十、「スチューデントフェスティバル」と「心の歌と若者達」

その十一、消しゴムで消した思い出の数々。

体調レポートと近況

※スポーツジム週2回以上。ゴルフ場まで、あと一步！！音楽は1日10分以上に増やしたい。

“心の歌と若者達”の連中が千福が丘に訪ねてきました。ハーモニィのポニーと子供たちも登場！

※そろそろ海の季節。

※放射線治療は8月予定。インプラント、胃カメラ等。当面は注射と薬。

※「章さんの勝手口」、となりのパン屋とともに、まずまずの評判。中野も空き家問題が深刻。

※「滝を見に行く」という映画を観ました。(飯田橋)

※阿部ちゃんからも激励の手紙をもらいました。原発のことはあまり心配するな、東京には近づくな・・・とのコトです。

※デイビッド パーキンソン、中野ハウスの「勝手口」から入り金魚にご挨拶！！アジア各国へ生徒募集の旅。



ハーモニィセンターのポニーと子供たち



心の歌と若者達とハーモニィセンターの子供たち



David M. Parkinson

Director of University of Saskatchewan Language Centre